

【市長と語る懇談会 記録】

開催日 平成 25 年 6 月 2 日（日）
地区/会場 宮山小学校区/宮本地区コミュニティセンター
参加者数 6 人



《質問・意見》

最近、外宮に観光客がたくさん訪れています。若い方が多く、パワースポットとも言われるなかで、大変いいことでもあります。いろいろと新しい建物もできてきておりますので、これからも市内の活性化についてお願いします。

《回答》

ありがとうございます。これから外宮さん内宮さんに沢山の方が来られます。それぞれの地域についても、お客さんが来ていただける様な仕組みもつくりたいと思います。

また、この地域で言えば、蓮台寺柿を多くの人に食べていただけるような取り組みも良いのではないかと考えています。

《質問・意見》

宮山小学校は、将来、明倫小学校と合併しなければならないという話も聞いているが、そのような考えがあるのですか。

《回答》

今、小学校・中学校の再編成というのを進めています。団塊の世代が子どもの頃の人数と今の人数を比べると、半分くらいになっています。まもなく小学校によっては複式学級となり、授業をするような状況にまできています。このままだと子どもたちの学習環境が守れないと考え、地域の子どもの数に合った学校の配置をしていこうとしています。今は、3.11のこともありましたので、沿岸部の津波対策のことも含めて、小・中学校の再編を先に進めているところです。これから各地域の子どもたちの数を見ながら再編をしていきたいと考えているところです。宮山・明倫学区については、これから皆さんとお話し合いをさせていただきたいと思っております。学校を新しくつくる、なくしていくとなると、いろいろなお話がたくさん出てきます。きちんと地域の方々と意見を交わしながら、ご理解をいただけるように話を進めさせていただきたいと思っております。

また、高台の地域は人口が増えてきている所もあるので、それも加味しながら進めて

いかなければいけないと思います。

《質問・意見》

団地が高齢化してきたということで、組長とか月当番をするのが大変辛い、足腰が悪いので何とかしてほしいという意見があります。市として高齢化社会になってきた中で、そのような役割を免除するようなバックアップをしていただけないかのご意見・ご要望をいただいていますので、良い策があったら教えてほしいと思います。よろしくお願いいたします。

《回答》

高齢化が進むと地域の行事の面でも大変になってくると思います。これからそれぞれの自治会さんでずっと同じ事業を進めていくのは大変ということは目に見えていますので、小学校区の中で地区みらい会議という自治会を少し大きくしたものを進めています。

今、24小学校区のうち13の学区で地区みらい会議が立ち上がりました。例えば、この地域に学童保育を作ったという、その地域だけではなく、全部の地域に平等に1つのサービスを各地域でやっていかなければいけないということがあります。また、各地域で予算的にサポートしていますが、地区みらい会議では、この地域では子どもたちの通学路の安全・安心をやっていきたい、この地域では買い物難民のサポートをやっていきたい、そういったことを独自の事業で進めていただいています。沼木学区で、買い物に行くことができない、病院に行くことができないとのことで、自分たちでバスを走らせたい、ルートは自分たちで決めた、ダイヤも決めた、お金だけがなかなか大変なので、行政がそこだけはフォローしてほしいということで進めさせていただいています。そういった取り組みが各地域で芽が出てきました。そうすることで各町会だとお金も人材も大変、といった状況の中で、少し大きい範囲でみんなで助け合っていけるようなコミュニティが作れるかなと思っています。当然、自治会さんの仕事もやりながら、地区みらい会議の仕事もしなければいけないのは大変という意見もいただいています。そのところは精査して、われわれも事務手続きの問題も改善し、お互いがプラスになるような取り組みにしていきたいと考えておりますので、地区みらい会議もぜひともよろしくお願いいたします。

《質問・意見》

この地域は山と近接しているため、鳥獣の被害が大変です。去年からは行政も積極的に協力してもらいたいのですが、それでも乗り越えて進入してきますので、今後とも積極的にお願いしたいと思います。

《回答》

サル、イノシシがひどいですね。シカにも私は会いました。蓮台寺の柿を味見して捨てるものがあるなど、昔から田んぼや畑を守っていても、大変被害が多いということも聞かせてもらっています。昨年くらいから獣害対策の予算を増やしましたが、なかなか相手も考えて智恵を出してくるので、抜本的な解決にならないというところもあります。

しかし、そのような取組みはこれからもやっていきますし、地区みらい会議での取組みもできることがあるかと思っています。

完全に山側にフェンスをするしかない感じですね。力を入れていきたいと思っています。地区みらい会議でも使いやすい制度ができるかと思っていますので、地元の方とお話をさせていただきたいと思っています。

《質問・意見》

せっかく作ったものをめちゃくちゃにされてしまうと意欲がなくなります。私たちの悩みの種です。

《質問・意見》

捕獲したサルとかの処分を市ですていただけなのですか。

《回答》

わかりました。以前、内宮さん側から出てくるものに対してお話をし、フェンスが進んだ所もあるので、外宮さんもそういったことができないか私たちの方からもお話をさせていただきます。

《質問・意見》

津村、円座、横輪や矢持など郊外へ行くほど不便です。スーパーもなければ、小売店もありません。沼木に1店舗ありますが、おじいさん、おばあさんが乳母車をひいて買いに行っています。伊勢市内のど真ん中に行くと、10分もしないうちに小さな小売店がたくさんあります。その話をしたのですが、事務の女の人には三重交通があるじゃないですかとのことでした。私は「それは1時間に1本でしょ」と言ったのです。私はもとは南伊勢町で、ここへ来て6年目なのですが、地元へはよく帰るものですから、市内に行こうと思うと1時間に1本しかないのです。私たち若い者は車があるからいいのですが、津村、沼木、矢持、横輪で話を聞くと、買い物に行きたくても行けない。また、バスも入っていない所があります。それを何とかしてほしいと思っていたところ、ITVのテレビで沼木の話聞いたのですが、あれはどこからどこまでで、どういうしくみで、玉城町・南伊勢町みたいなデマンド形式になるのか、三重交通さんとどうなるのですか。また、16年度でしたか横輪川の台風21号があり、土手を改修していますが、昨年かまた水位が上がりました。あれは大丈夫なのですか。私は海育ちなので、満潮、干潮を考えるのですが、16号のときもダム放水と横輪川からの川の流れを1人で考えていました。満潮なのに放水してもらったら困ると思ったのですが、結局は決壊して全国のボランティアのみなさんに世話になったのですが、今のやり直しで大丈夫でしょうか。

《回答》

まず、バスの状況ですが、沼木のバスの運行は、地元の方々が協力をして運行していただきます。その運行の費用については市が負担をして、運行自体は地元の方にさせていただきます。

(都市整備部)

沼木地区のバスについて説明させていただきます。矢持町から伊勢市駅前を走っている三重交通の路線を廃止します。そのかわりに市役所のバスを貸して、地元が運転手を出して、運転していただきます。どこに行くかという、地区は生活圏が度会町の方が多いということから、度会町の商店などへ、との要望があり、それを了承するかたちで12月を目標に進めています。玉城町のデマンドタクシーと一緒にということについては、体系的には違います。導入時期は無料ですが、試行的にバス停を変えたりします。バスというのは、ワンボックスの10人乗りになりますので、小回りのきくところまで行ける予定です。そのバス停の利用についても、全て地元が考えた、地元の案を了承するかたちで考えています。これからのことですので、まだまだ課題はどれだけ出てくるかわかりませんが、地元と市と協議をしながら、交通政策課が取り組みます。

《質問・意見》

沼木だけなのですね。

《回答》

(都市整備部)

はい。

《回答》

先ほどの横輪川の件ですが、平成16年の台風で決壊した状況になりました。それから、昨年の6月に宮川の河川改修が終わりました。平成16年の時の台風21号の総雨量が約1000mmでした。宮川ダムの放水は、放水をしないと中にいる人たちの命が危ない状況までいったと思います。改修してもらった後、平成23年に台風が来たのですが、平成21年と比べると総雨量が1600mmで60%くらい増えていました。被害の状況はというと、被害面積は平成16年よりも21年のほうが4分の1となりました。こんな状況ですので、どこまでできたら大丈夫ということは言えないのですが、23年も16年の時も戦後最大雨量の状況です。そういった状況で、被害面積は縮まってきたのですが、一番課題となっているのが、山や排水路から流れてくる水の量です。川を広げたのですが、増水すると支川の水が流れず水浸しになってしまうというケースが出てきます。この点については、ポンプを設置して川に水を放流していきたいと思っており、今年その分析、どこにポンプを置いたらいいかの結果が出てきますので、そこからどう整備をしていけばいいか国にもお願いしようかと計画しています。満潮、干潮はすごく大事です。台風や地震など雨のピークと満潮とあってくることもありますので、いつもひやひやしながら職員も現場を見に行っています。

《質問・意見》

私は公立の保育所を目指している学生で、伊勢のことを知りたいと思って参加させていただきました。伊勢の小学校や中学校がだんだん減っていくということで、保育園や幼稚園もこれからは減っていくのですか。

《回答》

公立の保育所と民間の保育所、幼稚園があります。今の方向性として、子どもの数にあわせた施設を考えていくと、民間の方をお願いしていくという割合が高くなっていくと見込んでいます。

《質問・意見》

私立の今の求人も今年は0人で、臨時とか嘱託の募集とかが増えています。私は、ずっと保育士を目指していて、浦口町から来たのですが、保育士はこの伊勢では仕事がなくなっていくのですか。

《回答》

なくなるわけではないのですが、全体の子どもたちの数に合わせた状況にしていかないといけないと思っています。ただし、正職員で入るのか、臨時職員で入るのかその割合についてはもう少し考えなければいけないと思っています。伊勢では、公立の保育所でも正規の職員に対して臨時職員が40%くらいになっています。しかし、実際現場に行き、仕事の内容を見ると正規の方の仕事と臨時の方の仕事というのがあまり大差のない部分もでてきております。子どもの命を預かっている現場ですので、臨時さんの仕事というのは、できるだけ正規の仕事にしていきたいという気持ちはあります。これから国で就学前、小学校に行く前の保育所、幼稚園の制度をどうしていくかということが大体固まってきた部分があるので、こども園という形がだんだんと主流になっていくのではないかと思います。

《質問・意見》

伊勢市全体として、伊勢市駅前の工事が行われていて、遷宮までにどのようなものができるのか、内容を聞かせてほしい。

《回答》

ジャスコの跡の所は、今ホテルの建設が進み、8月にオープン予定となっています。三交百貨店の跡地は今、更地になったところで、遷宮でたくさんお客さんが訪れるため、駐車場として使わせてほしいとお話をさせていただいているところです。遷宮までにはきれいなカタチで、お客さんをお迎えできるよう進めさせていただきたいと思います。

今日はお休みの日にもかかわらず出席していただき、ありがとうございます。今日いろいろご意見をいただきました。少しでも改善していけるようにしていきたいと思えます。今日、少子化のことが話題になりました。将来、伊勢市の人口が20年後になるとどんどん目減りをしていきます。私たちは、目減りしていった時にどういう準備をしておかないといけないかということを考え、小学校・中学校・保育所・幼稚園の議論をしていますが、これからしていかないといけないのが人口を減らさないためにもっとみんなが暮らしやすい環境をどう作っていくか、ということが1つの目標であると思っています。

みなさん方からもご意見をいただいて、少しでも安心して暮らせるまちをつくっていきたく思います。どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。